

★ポイント1

総合振興計画に即すとともに、
「攻めの姿勢」を示す新たなまちづくり
の視点を盛り込んだマスタープラン

● 第五次総合振興計画の施策を後押しする計画策定

- 計画策定にあたっては、総合振興計画に即した将来像や目標を定めるとともに、49の個別施策のうち、特に都市分野に深く関わる施策を後押しするため、分野別都市づくり方針などにおいて方針展開。

⇒P. 15～P. 38

● 本市のポテンシャルを高める「攻めの姿勢」の計画策定

- 新型コロナ危機を契機に生じた変化、頻発・激甚化する自然災害への対応、SDGsなど、時代の変化や要請に応じた取り組みを積極的に展開するため、5つの「まちづくりの目標」を設定。

⇒P. 9

- 「より安心、より快適なまちづくり」の実現に向け、本市の可能性をさらに高める「攻めの姿勢」を示す「まちづくりの実現に向けて」を新たに記載。

⇒P. 75～P. 86

★ポイント2

今日的課題に対応しつつ
「和光市らしさ」が光るマスタープラン

● 本市の今日的課題に対応した計画策定

- 都市計画道路や周辺の基盤整備が長期にわたって未着手となっている状況や、宅地の無秩序な開発により失われつつある農地や自然環境など、本市の今日的課題を分野別に捉え、これらに対応した都市・地域づくりを着実に進める施策を展開。

⇒P. 15～P. 38

● 本市の特性を生かした「和光市らしさ」が光る計画策定

- 第五次総合振興計画でも「小学校区」を基本とした地域コミュニティを重視していくことが明記されており、本計画においてもこの考え方を前提に、日常生活圏や交通ネットワーク、隣接自治体との関係性を考慮した地域区分を設定。

⇒P. 40～P. 41

- 公園、緑地・湧水地、河川、農地などの豊かな自然環境や、国指定史跡午王山遺跡などの歴史資源などを生かした「和光市らしい」都市づくり方針を展開。

⇒P. 24～P. 27

★ポイント3

市民に分かりやすく実行性の高い
マスタープラン

● 市民意見が十分に反映された計画策定

- 計画策定にあたり、市民アンケート、中学生アンケート、地域別懇談会（2回）、パブリックコメント（今後実施）の機会を有効に活用して、丁寧かつ効果的に市民意見を収集し、主に地域別構想に反映。

⇒P. 39～P. 74

● 分かりやすく実行性の高い計画策定

- 地域の多様な課題・ニーズに対応するため、推進体制や実現に向けた取り組みを新たに記載。

⇒P. 82～P. 84

- 将来都市像「心和み、光り輝くまち ふるさと和光」の実現に向けた取り組みを着実に進めるため、本計画の進行管理と見直しについて記載し、達成状況を点検する指標（案）を設定。

⇒P. 85～P. 86

- 「誰にでも分かりやすく使いやすい計画」とするため、図表やグラフを使用し視覚的に分かりやすく表現し、使いやすい計画書の構成を考慮して表やイラストなどを活用。

⇒P. 4、42-43、77 etc